

17番	柴田利勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、瀬戸市の産業振興支援策について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>本市は市内企業や金融関係、学識者などを構成委員として、瀬戸市産業振興会議を設置し、その後陶都瀬戸躍進会議とし、産業支援を行ってきたが、第6次総合計画では産業振興全般を担う瀬戸市地域産業振興会議を設置され、特にやきものに関しては瀬戸焼振興協会を設置され、地場産業振興に関する役割を明確にした政策を展開されている。また、市内や市近郊には「知の拠点あいち」や「愛知県窯業技術センター」「産総研中部センター」など産業の発展に必要な支援拠点としては充分整っている。そこで以下質問する。</p>	<p>1、やきもの振興について</p>	<p>① 本市の地場産業であるやきもの振興について、平成30年度の第6次瀬戸市総合計画を達成する為、瀬戸市地域産業振興会議と瀬戸焼振興協会に分けその推進に向けた組織改編を行ったが、どのような目的で行ったか</p> <p>② 市内の陶磁器関係者と話をする機会が多くあり、その人たちの話からすると、例えば本市のやきもの振興に関する支援が他のやきもの産地と比べ弱いという印象である。市としての見解を伺う。</p> <p>③ 本市の支援策は多くあるが、事業者としてそれらの支援を充分受けるにはその事業者のやる気や、関心がまず必要であるが、その支援が有効に利用されるために、市としてどのような支援のあり方がより良いと考えるか。</p> <p>④ これまで支援を行ったことにより、具体的事例としてどのような成果に結びついたか。</p> <p>⑤ さらにやきもの振興を進めるために、日本遺産認定の活用が不可欠と考えるが、今後、事業者が積極的に前向きに事業を展開していくための一つとして、どのように日本遺産認定を生かした取り組みをしていくか。</p> <p>⑥ 「知の拠点あいち」や「産総研中部センター」「愛知県窯業技術センター」などでは研究室を貸与する制度もあると聞くが、事業者から研究する人を募り、部屋を市として借り入れ、部屋を区切り何社かそこで研究してもらうことも良いのではないか。また、異業種の人たちとの共同研究などにも役に立つと思うが市の見解を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。